

# 町長

## ひとりごと

(52)

### 斉藤 讓

最近、悲しい出来事が続いた。町の代表監査委員である渡辺孝司さんが三月二十五日に亡くなり、その後間もない四月七日には町の産業課長越川信さんが急逝するという、思いもかけない二人の身近な人の死に直面した。

お二人は、年齢や立場こそ異なつたが、共に光町発展のために尽くし続け、勤半での死であつた。ご本人やご遺族の皆様のご無念は言うまでもないところであるが、私自身にとつてもこの上なく悲しく残念なことであつた。越川課長の場合は、齢五十五歳の働き盛りで、奥さんと大学生、高校生の二人のご子息を残した死であり、一層悲しみが深い。責任感の強い彼は、入院中も常に職場の仕事が気に懸つていて、意識が混濁した死の間際まで仕事に関係した言葉を言い続けていた、と後から人伝に聞いた。「神よ、あなたは！」と、神を怨んでも

怨みきれない。彼が哀れであり、たまらなく不憫でならぬ。私は涙ながらに彼に手向ける弔辞を、一気呵成に書きあげた。今回は、この弔辞を掲載させていただき、改めてご冥福を祈りたい。

また、町民の皆さんには、生命の大切さを強く訴えたい。

### 甲 辞

時はいま桜花爛漫として咲き誇り、一望万里の春であります。

天地に精気漲り、万物嬉嬉として躍動する絶好の季節を迎えたというのに、非情なる運命は、わが光町の幹部越川信産業課長を、一陣の風と共に奪い去ってしまいました。

生者必滅の理は、百も承知であります。それにしても、齢五十五歳の働き盛り、これから本当の人生の花を咲かせようとする家族思いで、仕事に途な情熱を捧げ尽くしてきたこの真面目人間に、神は何の咎あつてこんなにも酷く悲

# 神よ

しい風が、ただ吹き抜けるばかりの索漠たる心境であります。

越川課長、貴方は五十五年の道程をひたすら忍耐と努力を積重ねて、明るい家庭を築くと共に、町づくりに大きな貢献をしつつ、その傍で後進の育成に努めてこられました。貴方の心は常に純粹で、一点のくもりも無く、毀誉褒貶の渦巻く世情の中で一際光彩を放ち、貴方と対話する度に心が洗われる思いでありました。

ご家族の敬愛はもとより、上司、同僚、部下の信望を一身に集めた所以も、まさにここにあるものと私は思っております。

貴方は二十八年の在職中に議会事務局長、食肉センター所長、保健衛生課長、産業課長と重要な役職を歴任し、それぞれポストで誠心誠意の働きをして、大きな実績を残されました。特に、貴方が産業課係長時代に担当した西高野地区農業構造改善事業は、全国の先駆をなし光町の農業の振興に大きな影響を与えたことは、未だ記憶に新しいところであります。当時の貴方の活躍振りは、いまなお関係者の高く賞讃するところであり、その功績は光町の農業史に長く燦然と輝き続けることでありましょう。

越川課長、貴方が入院する間際に「お陰で長男の大学入学が決まりました」とうれしそうに語りかけてきた、あの時の貴方の笑顔が忘れられませんが。まさかあの笑顔の陰に恐ろしい病魔が隠れていようとは夢想だに出来ませんでした。貴方は、自宅の庭先で咲く素適な花を、折々に町長室に届けてくれるやさしい心根の持主でもありました。それが今、貴方の墓前に私が花を手向けようとは、何たる運命の悪戯でありましょうか。痛恨の極であります。

愛しき妻や子、慕い続ける同僚や部下の必死の願いに背を向けて、遙か黄泉へと旅立つ貴方の未練と無念を思うとき、万感迫り、まさに胸裂け腸を断つ思いであります。しかし、悲しくも幽明境を異にしたいま、私達はただ静かにご冥福を祈るばかりでありませぬ。残された奥様と二人のご子息は、必ずや貴方を誇りとして苦難に耐え、逞しく人生を切開いていくことであります。どうかこれからは、花咲く浄土からご家族の無事を見守り、慈しみのご加護を与えてあげてください。お願いいたします。

私達も一同力を合わせて、素晴らしいふる里ひかり町を建設し、旅立つ貴方へのせめてもの餞とさせていたたくべく精進努力することを固くお誓い申し上げます。終りに御霊の安らかなるご冥福を謹しみ重ねてお祈り申しあげ、弔辞といたします。

越川課長、貴方は五十五年の道程をひたすら忍耐と努力を積重ねて、明るい家庭を築くと共に、町づくりに大きな貢献をしつつ、その傍で後進の育成に努めてこられました。貴方の心は常に純粹で、一点のくもりも無く、毀誉褒貶の渦巻く世情の中で一際光彩を放ち、貴方と対話する度に心が洗われる思いでありました。